

イタリアンライグラス

# 水田裏作と「サクラワセ」

- 水田裏作でのイタリアンライグラス、その栽培は、関東以西ではポピュラーなものとなっています。  
日本の米どころ、宮城平野は冬は枯色一色となっており、冬作としてのイタリアンライグラスの導入が注目・検討されています。

① 角田市(農協)では“有機米の生産”確立のため、弊社白石営業所との共同で、特に極早生品種「サクラワセ」の導入・定着が進められ、ここでは稲作への緑肥効果の立証が取り上げられています。



水田が「サクラワセ」の緑で覆われている



刈り取り量調査(山はまだ雪です)



ロータリーによるすき込み作業



出穂初期の「サクラワセ」(クローズアップ)

② 福島県では水田酪農家の協力を得て、飼料生産+緑肥効果の確認が進められています。「サクラワセ」は桜の開花期に出穂し、刈取り利用も早く、飼料生産と緑作の両面で評価されています。



矢吹町での栽培状況



稲の刈り株が残っています(不耕起栽培法)